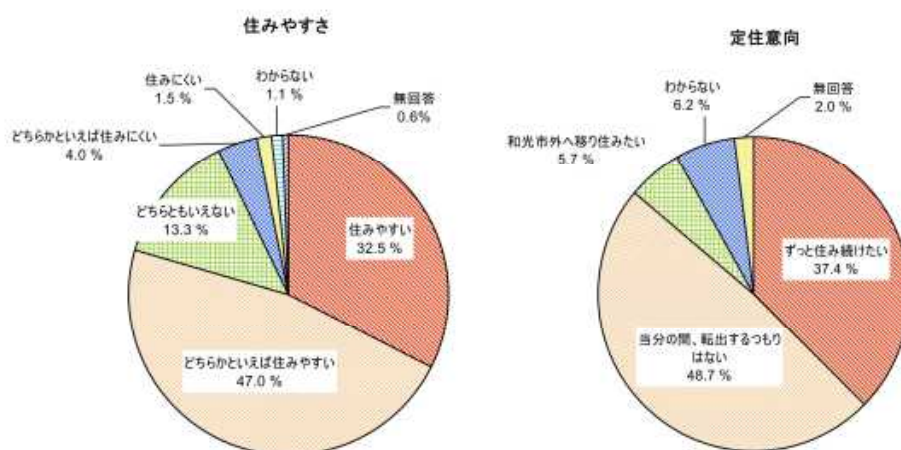
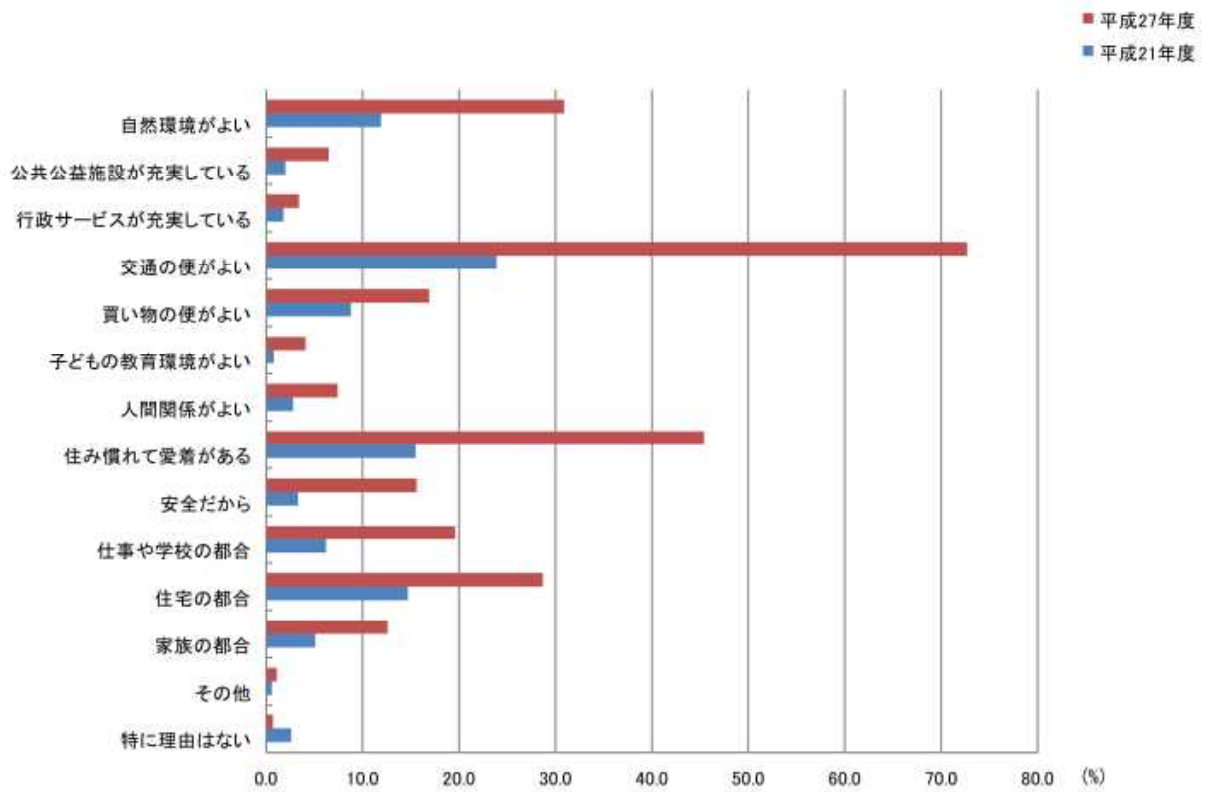


（４）市民の多くは、住みよく、これからも住み続けたいと感じている

- 市民意識調査では、本市の住みやすさについて「住みまい」「まあ住みまい」との回答が73.9%を占めています。
- 本市の住みやすさについて、平成21年度の市民意識調査では「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」との回答が73.9%であったのに対し、平成27年度の市民意識調査では、79.5%で、5.6ポイント上昇し、更に高い水準で本市の“住みやすさ”が表れています。
- 市民意識調査では、本市に今後も住み続ける意向があるかについて「ずっと住み続けたい」「当分の間転居するつもりはない」との回答が83.9%を占めています。その主な理由は「交通の便がよい」「住み慣れていて愛着がある」があげられています。
- 本市に今後も住み続ける意向があるかについて、平成21年度の市民意識調査では「ずっと住み続けたい」「当分の間、転居するつもりはない」との回答が83.9%であったのに対し、平成27年度の市民意識調査では、86.1%で、2.2ポイント上昇し、こちらも更に高い水準で推移し本市に“住み続けたい”市民の意向が表れています。また、その主な理由は平成21年度の市民意識調査と変わらず「交通の便がよい」「住み慣れていて愛着がある」などがあげられています。
- 市民意識調査では、「都心への交通の便のよさ」「和光樹林公園、荒川河川敷運動公園など規模の大きな公園」「都心に近いわりには農地が残っていること」などに、魅力や誇りを感じています。
- 今回の市民意識調査では、前回の調査と同様に「都心への交通の便のよさ」「和光樹林公園、荒川河川敷運動公園など規模の大きな公園」など、交通の利便性や自然環境の良さに、魅力や誇りを感じている市民の割合が高いほか、「災害や犯罪が少なく、安心して生活できること。」などを挙げる市民の割合が高くなっています。





資料：市民意識調査（平成27年度）

~~（6）市の施策に対し、やや満足的项目が多いが、やや不満とする項目も残されている市民の意識~~

（6）市が重点プランとして掲げた施策に対する市民の意識

~~●市の施策に対する市民満足度について、平均満足度スコアは、8.9%で、全体的にやや満足、満足とする項目の方が多いが、やや不満とする項目も依然として残されています。（満足度スコアとは「満足」「まあ満足」と回答した人の割合から「やや不満」「不満」と回答した人との割合を引いたもの）~~

●平成27年度市民意識調査によると、重点プランのうち最も満足度が高い施策は、「施策15地域と連携した教育の推進」、一方で、最も低い施策は「施策1中心市街地にふさわしい駅北口周辺の整備」となりました。

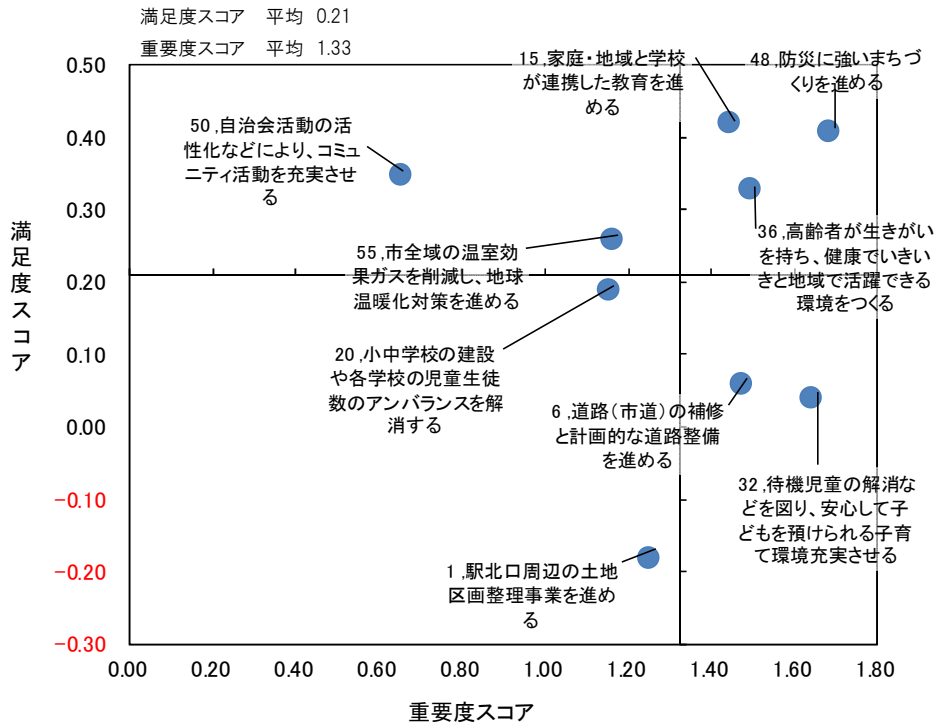
●満足度が低く、重要度が高い項目は、一般的に今後、満足度を上げるため、最も優先して取り組む必要があると考えられ、この施策としては「子育て環境、育児相談、高齢者の生きがい支援、保健・医療サービス、社会保障制度、行政運営」が該当します。

●重要度が高く、満足度が低い項目は、一般的に今後、満足度を上げるため、最も優先して取り組む必要があると考えられ、この施策としては「施策6安全で快適な道路の整備」、「施策32多様な保育サービスの推進」が該当します。

~~●市民満足度も重要度も高い項目は、一般的には、これまでと同様のサービス水準を維持することが必要と考えられ、この施策としては「道路・公共交通、学校教育、通学の安心」が該当します。~~

●市民満足度も重要度も高い項目は、一般的には、これまでと同様のサービス水準を維持することが必要と考えられ、この施策としては「施策15地域と連携した教育の推進」、「施策36高齢者の生きがいと社会参加への支援」、「施策48防災体制・消防支援体制の強化」が該当します。

【重点プランに掲げる取組に関する、満足度スコアと重要度スコアの相関図】



- ※ 満足度スコア: 「満足」2点、「まあ満足」1点、「どちらともいえない」0点、「やや不満」-1点、「不満」-2点とした場合の平均点。「わからない」及び無回答は母数から除く。全員が「満足」と回答すれば、満足度スコアは2点となる。また、満足している人より不満の人が多ければマイナスの値になる。
- ※ 重要度スコア: 「重要」2点、「どちらともいえない」0点、「重要ではない」-2点とした場合の平均点。「わからない」及び無回答は母数から除く。

資料: 市民意識調査(平成27年度)